

K-510

数理解析研究所講究録 208

ハミルトニアンの定義とスペクトル



京都大学数理解析研究所

1974年5月

ハミルトニアン²の定義とスペクトル報告集

1973年 6月25日～6月27日

目 次

1. Nelson の仕事について (I) 1
神大 工 麦林 布道
徳大 工 長町 重昭
2. Markov Field for Fermion 20
東工大 理 中神 祥臣
3. ヒルベルト空間の作用素の族から
導入された核空間について 34
東理大 理工 永倉安次郎
4. 場の理論におけるハミルトニアン²の正準変換 88
阪府大 工 安武 修
5. Glimmの方法による荷電スカラ一場の
ハミルトニアン²の定義について 104
香川大 教 青木 昌三
6. 束縛状態がある場合の散乱理論
— 漸近場を中心として — 118
宇都宮大 工 加藤 祐輔
明星大 理工 関根 克彦

7. Quantum Field Theory in Terms of

Non-Standard Mathematics132

関学大 理 神戸 良一